

コナジラミ類

オンシツコナジラミ 【学名：*Trialeurodes vaporariorum* (Westwood)】

タバココナジラミ 【学名：*Bemisia tabaci* (Gennadius)】



写真1 オンシツコナジラミ



写真2 タバココナジラミ



写真3 トマト黄化葉巻病

【被害と発生生態】

- ・被害作物…数多くの野菜，花き類など。
- ・被害…葉裏から吸汁，加害します。多発すると，排せつ物によりすす症状が発生して，果実が汚れます。オンシツコナジラミ（写真1）はキュウリやメロンの黄化病ウイルスを，タバココナジラミ（写真2）はトマトの黄化葉巻病（写真3）ウイルスを媒介します。
- ・発生生態…施設栽培では，冬季以外はいつでも発生するので注意が必要です。

【見分け方】

- ・オンシツコナジラミ…4 齢幼虫は楕円形で体色が白く，突起が多い。成虫は翅が平べったくたたまれた状態で，上から見ると三角形に見えます。
- ・タバココナジラミ…4 齢幼虫は後部がやや細い楕円形，体色は黄色で突起がほとんどなく，成虫は体形がやや小さく細めです。

【対策】

- ・黄色に誘引されるため，黄色リボンや粘着トラップを設置して誘殺します。
- ・ハウスサイドや出入り口に防虫ネット（0.4mm 目合い以下）を設置して侵入を防いでください。
- ・定植時に粒剤を使用してください。薬剤散布を行う際は，葉裏を中心とし，かけむらのないように注意して散布します。

参考文献

米山伸吾・草刈眞一・柴尾学，病気・害虫の出方と農薬選び，農山漁村文化協会